熊本市立植木北中学校学校だより　第１８号

日　進　月　歩

令和７年９月９日（火）
校長　坂本正二
「可能性は無限大（∞）」
植木北中 HP→

世界観が広がる～１学期多読賞の皆さんです～

図書だより9月号では紹介されていますが、1学期の多読賞が発表されました。1位:2年生徒173冊、2位:2年生徒127冊、3位:2年生徒67冊、4位:1年生徒、2年生徒42冊、5位:2年生徒40冊、以上が今回のトップ5でした。1学期が始まった4月9日から終業式の7月18日まで週休日や祝日、休日を含めると100日間になります。1位・2位の生徒は1日1冊を超えるペースで本を読んでいることになります。私は1冊の本を読むのに時間がかかるので、短期間で多くの本を読める人を羨ましく思います。昼休みや就寝前に読むことが多いそうです。多読賞の皆さんに**「読書の魅力は何ですか？」**と尋ねると**「知識が増える」「気分転換できる」**そして**「（自分の）世界観が広がる」「いろんな世界に入り込むことができる」**という回答が返ってきました。自分を登場人物になぞらえる、自分の見方考え方を広げるなど読書を通してできることってたくさんあることを、多読賞の皆さんから教えてもらいました。日中は暑い日が続きますが、夜になると幾分涼しくなってきました。秋が近くまでやってきています。「読書の秋」、本を手に取り、読書を楽しむ時間を過ごすのもいいのではないでしょうか。

「みんなの前に立つということ」
～少年の主張熊本県大会～

8月30日（土）少年の主張熊本県大会2025が熊本城ホールで開催されました。熊本県総数670を超す応募の中から、各郡市の代表10名が発表しました。内容は、学校生活、家族との絆、社会問題などについて、中学生がそれぞれの視点で考えたことを発表しました。本校からは、3年生徒が、**熊本市の代表として出場し、見事入賞しました。**題名は「みんなの前に立つということ」。体育大会でのダンスリーダー長の活動を通して、周囲の仲間に支えられながら役割をやり遂げ、成長を実感できた体験を発表しました。全体のトップバッターでの発表で、緊張したことと思います。しかし、とても明るい表情で溌溂と発表してくれました。素晴らしい発表で会場から多くの拍手を受けました。後日感想を聞くと**「原稿を覚えるのは大変でした。また、大きな会場で観客も多くとても緊張しました。しかし、多くの人の前で発表するのは自分にとっていい経験になりました。」**と語ってくれました。また、発表前日にリハーサルとして3年生の前で発表したそうで、その時に**「一緒に体育大会のダンスを作った仲間に、発表を通して感謝の気持ちを伝えられたことはうれしかったです」**とも話してくれました。本校生徒をはじめとして10人の中学生が、若い感性で、純粋な気持ちで感じたことを発表してくれました。自分の意見を伝えることはいい経験になり、成長につながります。毎年開催される大会なので、来年もぜひ多くの人がチャレンジしてほしいと思います。

吉松まつり（８月１６日）

8月16日（土）に吉松小学校で開催された「吉松まつり」にボランティアとして10名（3年1名、1年9名）、カラオケに1年生徒、そして和太鼓部が参加しました。ボランティアに参加した皆さんは、**「飲み物の販売やお菓子の袋詰めなど普段できないことが経験できて楽しかったです」「スタッフとして参加し、裏方の仕事がイベントを支えていることを知りました」**と感想を語ってくれました。カラオケに参加した生徒は「最初緊張したけど、途中からは気持ちよく歌えました。友達から褒めてもらえて嬉しかったです」と笑顔で話してくれました。和太鼓部の代表として話をしてくれた2人は**「上級生として1年生に演奏を教えながら取り組んできました。自分たちが教えてきたことが1年生にきちんと伝わっていて、いい演奏ができてよかったです」**と話してくれました。当日は途中で雨も降りだし大変でしたが、中学生として地域に貢献した子どもたちを誇りに思います。10月4日（土）は田底小校区で祭りが開催されます。ボランティアの募集があります。地域を愛し役に立てる人になっていってほしいと思います。